

令和2年12月定例教育委員会会議録

日 時	令和2年12月17日（木）午前10時00分～午前11時10分	
場 所	扶桑町中央公民館	
出席者	教育長	澤木貴美子
	生涯学習課長	仙田剛宏
	教育長職務代理者	加藤高周
	文化会館長	小川健
	教育委員	松山信雄
	学校教育担当主幹兼指導主事	
	教育委員	千田まち子
		田口人士
教育委員	江口夏世	学校教育課主幹
		池田聡
教育次長兼学校教育課長		学校教育指導員
		大澤外美
	志津野郁	
議 題 及 び 結 果	2 協議事項	
	(1) 指定校変更について	承認
	(2) 後援依頼について	承認
	(3) 当面の諸課題について	
	3 連絡事項	
	(1) 行事予定表について	
	4 その他	
	(1) 12月定例会一般質問の報告について	
	(2) その他	

日時 令和2年12月17日(木)

午前10時00分

場所 扶桑町中央公民館

1 あいさつ

2 協議事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事 教育次長	(1) 指定校変更についてお願いします。 はじめに別紙 1-1 をご覧ください。就学指定校変更、令和3年度高木西・福塚地区の進学中学校について説明させていただきます。来年4月からの中学校就学先の指定校変更を申請されているのは8名です。申請理由は、いずれの方も小学校の友だちと同じ中学校へ進学させたいということです。次に別紙 1-2 に移ります。申請者は2名の方です。申請理由につきましてはそれぞれ記載の通りで、現在通学している小学校の友だちと一緒に中学校へ進学させたいということです。
指導主事	ただ今指定校変更についてそれぞれ説明がありましたが、何かご質問はありますでしょうか。ないようですので、(1) 指定校変更についてご承認いただけますでしょうか。
教育委員	はい。
指導主事 主幹	続きまして(2) 後援依頼についてお願いします。 新規の申請1案件出ています。①体幹・かけっこ教室について申請が出ております。[①の説明]
指導主事	後援依頼についてご質問はありますか。ないようですのでご承認いただけますでしょうか。
教育委員	はい。
指導主事 教育長	それでは、(3) 当面の諸課題についてお願いいたします。 別紙、扶桑町教育委員会12月当面の諸課題をご覧ください。 1. 扶桑町教育委員会 今年度の重点目標ということで、特に2点お話をさせていただきます。 まずICT教育推進では、各学校にタブレットが導入され、ホームページで活用している様子を発信しておりますのでご覧いただきたいと思います。導入された学校では試行錯誤しながら積極的に活用しているところです。 次に働き方改革です。来年から国から示された教職員の勤務時間につきまして、扶桑町としても残業時間が月の上限45時間の学校管理規則を作成しなければなりません。今年度中に町で検討作成しまして、教育委員の皆様にお示しをしたいと思います。4月から施行ということになりますの

でよろしくお願ひします。この月45時間以内ということに関しては、学校の仕事内容が減らなければ勤務時間も減りませんので、校長会とも連携し検討をして進めてまいります。

2. 学校教育

コロナの対応ということですが、第3波が来ております。家族感染が増加しております。日常的に家族の誰かがPCR検査を受けているということで、教育委員会への報告も増加しております。また、子供たちが利用している施設等で感染の恐れがあるということで、PCR検査も普及しているようです。扶桑町で子供たちがどれくらいPCR検査を受けたか調べてみますと5月から本日までの児童生徒は合わせて32名います。保健所からは、子どもが濃厚接触者になった時点で報告していただけるシステムになっています。新聞や記者発表前に休業のこともありますので事前に報告を受けることになってはいますが、コロナ感染者が多くなってきているのか保護者からの報告が早くなっています。家族感染が多くなっていますが、今後、29日から1月3日まで年末年始の特別休暇に入り学校は休みになりますので教育委員会として万全の体制で対応することにしております。

扶桑町いじめ問題専門委員会が12月23日の午前に行われます。

3. 生涯学習

文化財保護審議会は12月23日の午後に予定されています。

成人を祝う会につきましては、コロナ第3波がやってきて開催が危ぶまれています。今のところは実施予定です。コロナ感染予防につきましては、万全を期して午前は扶桑北中地区と午後は扶桑中地区の2回に分けて、ホールは勿論屋外についても密にならない対策を考えております。

家庭教育講演会が1月17日に行われますが、扶桑中出身のパーカッション奏者美郷さんが出演されます。

4. 報告・連絡事項

表彰等明るい話題がたくさんありましたので紹介します。

中島博明前教育長が秋の叙勲で瑞宝双光章、学校教育功労者として愛知県教育表彰、文部科学省より地方教育行政功労者表彰されました。また、松山紀章元扶桑東小学校長に瑞宝双光章を受章されました。

誠信高校が第73回全国高校バレー選手権、いわゆる春高バレーに愛知県代表 出場決定し壮行会がありました。東京体育館で1月5日試合があります。

扶桑町にプロボクサーが誕生し、表敬訪問されました。扶桑東小学校・扶桑中学校出身の23歳の赤塚翔選手です。

賀詞交歓会・丹羽消防出初め式は中止になりましたので連絡させていただきます。なお総合教育会議が2月10日午前中に開催されますのでよろ

	<p>しくお願いします。</p> <p>[当面の諸課題について、他に12月定例会で話題になった学校と家庭連絡のデジタル化・押印廃止についての話題や、扶桑町の教育について1年間の振り返りを行った。その後の質疑では、タブレットについての現在の配当状況（配当は高雄小学校から始まり、あと扶桑中学校生徒分の配当が残っている。）についての報告とタブレットが配当された学校での効果的活用について説明された。また、新成人を祝う会について開催か中止かの判断について確認などが協議された。]</p>
--	--

3 連絡事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事 教育次長及び 各課長	<p>次に移りたいと思います。（1）行事予定表についてお願いします。</p> <p>別紙2をご覧ください。[別紙2にて行事説明。新型コロナウイルス感染拡大に伴う今後の行事中止や行事のあり方について追加説明する。]</p>

4 その他

発言者	発言の要旨
指導主事 教育次長	<p>4 その他、（1）12月定例会一般質問の報告についてお願いします。</p> <p>12月定例会において、3名の議員から一般質問がありました。</p> <p>お一人目の大河原光雄議員からは、「行政作業の効率化について」、脱ハンコとスクールソーシャルワーカーについての質問がありました。</p> <p>脱ハンコについては、学校連絡など学校現場での問題としまして、先ず保健調査や進路調査等紙媒体で押印を求めるものについては、廃止は可能ですが、外部に提出する書面や学校保管年数が義務づけられている書類については、検討していかねばなりません。しかし、毎日の連絡帳等、学校と家庭の連絡を深めるための押印につきましては、学校文化として残っていくと思われます。今後につきまして、GIGAスクール等デジタル化の進行とともに検討していくと、お答えしました。</p> <p>次にスクールソーシャルワーカーのコロナの状況での活動としては、秋口より家庭内のトラブルや不登校傾向が増加し、相談件数が増加しております。これは、休校により生活のリズムが崩れ、子供たちの心に影響を与えたのではないかと分析しています。今後、学校と家庭をつなぎ、健全な学校生活が送れるよう支援していきます。また、スクールソーシャルワーカーの増配の考えは、との質問には、毎年、専門家の講演等を聞く研修や大学の専門的な研修会に参加し、近隣との情報交換による資質向上に努めるとともに、扶桑町では、特に福祉部局との連携による情報共有が図られ</p>

	<p>ていますので、これからも、連携を強化していきたいと答えました。</p> <p>小室輝義議員からは、「修学旅行でのコロナウイルス対策」としての質問がありました。無事、全校修学旅行が終了したこと、経緯については、児童生徒に感染者が出て心配はしたものの旅行時期及び旅行先の変更等により安全な旅行実施に向けて配慮し、保護者にも説明会により、理解を求めてきた。参加への同意書も取りましたが、ほとんどが賛同いただけました。問題となるのは、急な中止によるキャンセル料の保障でありましたが、予算計上の対応をとっていたため、安心して当日を迎えることができました。旅行先では、健康と体調把握に力をいれ、食事、入浴、バス移動の際の対応等、宿泊先やバス会社の協力もいただけました。</p> <p>また、コロナによる学校生活については、学習活動にソーシャルディスタンスを守ることと、教科による制約が出たことが大きな影響でありました。給食、諸行事の縮小、変更等により様々なストレスが子供たちの心に積み重なっていると感じています。町では、交付金等を活用して、コロナ対策の備品、消耗品、人的な支援をして学校環境を整えてきました。子供たちはストレスはあるものの、安心して学校生活を送っています。子供たちの心のケアについて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用や、教職員の情報収集等を通してSOSを見逃さないよう努めていくと、答えました。</p> <p>丹羽友樹議員からは、自転車の安全利用の啓発は、どのように行っているのか、との質問がありました。</p> <p>町内でも自転車による交通事故の事例が増加しています。町内の小中学校ではそれぞれ「学校安全計画」の中で自転車の安全な乗り方や登下校の交通安全について学習する機会を位置づけており計画的に実施しています。犬山警察署と連携して、学校ごとに自転車教室を実施して、自転車事故の危険性や安全確保についての啓発活動を行っています。引き続き、交通安全について考える機会を設けていきたい、と答えました。</p> <p>以上、3名の議員からの質問に対してご報告をさせていただきました。ただ今定例会一般質問についての説明がありましたが、何かご質問はありますでしょうか。</p> <p>指導主事</p> <p>教育委員</p> <p>教育次長</p> <p>教育長</p> <p>教育委員</p> <p>修学旅行で6校中、参加率はどんなものですか。</p> <p>休んだ児童生徒は、全体で15名、コロナの影響で予防のために休まれたのは2名です。その内訳は小学校1名、中学校1名です。</p> <p>ただ不登校の児童生徒も欠席者におり、コロナがあってもなくても参加しない児童生徒を含めての数です。</p> <p>他地区と比べると少ないですね。地区によっては欠席者が目立ったところもあったようですが。</p>
--	---

指導主事	他地区の例では、キャンセル料のこともあり、お金の返金の方がうれしいということで参加されないということも聞いています。
教育長	行き先を変更したりして学校は大変だったと思いますが、どの学校もGo To キャンペーンを有効に活用されています。
指導主事	修学旅行のキャンセル料補助金について早々に町が認めていただいたことは、本当にありがたく、各校が修学旅行実施について安心してしっかり取り組むことができました。
教育委員	欠席者が少ないということは、学校と保護者と太い相互の関係ができているということで、扶桑町ぐるみで進めている教育は間違っていないと感じています。
教育長	ありがとうございます。修学旅行については、来年も第4波が来るかどうかわかりませんが、また、今年のような対応ができればと思います。
指導主事	その他、ないようですので、以上で12月定例教育委員会を閉会します。